

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日

上場会社名 株式会社AKIBAホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6840 URL <https://www.akiba-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 礼一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 五十嵐 英 TEL 03-3541-5068
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,644	△4.8	38	△83.7	31	△85.8	27	△81.1
2024年3月期第1四半期	3,828	6.7	237	37.5	224	52.9	143	41.5

（注）包括利益 2025年3月期第1四半期 34百万円（△78.3%） 2024年3月期第1四半期 159百万円（61.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	2.95	—
2024年3月期第1四半期	15.59	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	11,461	3,829	30.1	375.47
2024年3月期	11,468	3,794	29.8	372.31

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 3,448百万円 2024年3月期 3,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	17,500	10.4	750	△10.6	750	△11.2	500	70.9	54.43

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社グループは売上高が下半期に偏重する傾向が強く、上半期の業績予想が困難であるため、通期での業績予想のみの発表といたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) 株式会社ブランテクノ、除外 1社 (社名)

(注) 当社の連結子会社である株式会社パディネットが、2024年3月27日開催の取締役会において、株式会社ブランテクノの全株式を取得することを決議し、同年4月1日に当該株式を取得したことに伴い、2024年4月1日付で連結の範囲に含めております。なお、2024年6月30日をみなし取得日としており、当第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	9,192,560株	2024年3月期	9,192,560株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	7,980株	2024年3月期	7,980株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	9,184,580株	2024年3月期1Q	9,184,580株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、訪日外国人の増加によるインバウンド需要を受けて緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、賃上げ等により所得環境は改善しつつあるものの、円安等の影響による物価高騰が国内の個人消費を押し下げており、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、3,644百万円（前年同期比4.8%減）、営業利益は38百万円（前年同期比83.7%減）、経常利益は31百万円（前年同期比85.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（前年同期比81.1%減）となりました。

なお、前年同期に比べて減益となっておりますが、これは通信建設テック事業におけるキャリア3Gサービスのマイグレーション工事が一定程度完了したことにより件数が減少した一方で、次期の注力案件開始に向けて人員、事業所等を増強したことで販管費が増えたことによるものであり、従来より下期偏重型の収益構造という点も含めて、第1四半期の業績としては期初に見込んでいた計画どおりに推移いたしました。

(単位：千円)

財務諸表科目	2024年3月期 第1四半期連結 累計期間	2025年3月期 第1四半期連結 累計期間	前期比
売上高	3,828,361	3,644,168	△4.8%
売上原価	2,923,183	2,865,246	△2.0%
売上総利益	905,177	778,921	△13.9%
販売費及び一般管理費	667,636	740,229	10.9%
営業利益	237,541	38,692	△83.7%
営業外収益	1,159	4,136	256.7%
営業外費用	13,872	10,831	△21.9%
経常利益	224,828	31,997	△85.8%
特別利益	—	—	—
特別損失	—	—	—
税金等調整前四半期純利益	224,828	31,997	△85.8%
法人税等合計	73,740	△723	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,232	27,117	△81.1%

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① メモリ・PC関連デバイス・IoT事業

メモリ・PC関連デバイス事業においては、国内のPC需要が軟調だった影響や、物価高騰に対する企業の設備投資抑制を受けて、厳しい状況で推移し、法人向け・産業機器メーカー向けのメモリ販売においても、円安や半導体の需給バランスの変化から生じたメモリ価格の高騰を受けて粗利率が引き続き低調に推移いたしました。6月で販売価格の見直しを行い、粗利率の改善を図っております。Windows OSのサポート終了に伴うPC買い替え需要は下期から徐々に出てくる見込みではありますが、それまでの間も業績を維持するよう、IPCやガジェット、ネットワーク製品など、メモリ以外の商材の販売を進めてまいります。また、IoT事業においては、従来の主力量産案件とカスタム電源の出荷増もあって粗利は増加したものの、新規事業推進のための人員採用に伴う販管費の増加により、営業利益面ではやや厳しいスタートとなりました。今後は、新規量産案件の獲得、自社製品の開発により、収益の改善を図ってまいります。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,439百万円（前年同期比11.3%減）、営業損失は、55百万円（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

② 通信建設テック事業

通信建設テック事業においては、通信建設工事では前期までにキャリア3Gサービスのマイグレーション工事が一定程度完了した一方で、IoT関連、クラウド型カメラ、サービスロボット、レセプトのオンライン資格確認端末設置業務等のその他新規の電気通信工事の受注数が増加したことで売上高は微減にとどまりました。一方で利益面では新たな電気通信工事、EV充電設備等の電気工事案件の立ち上げに伴う体制強化による先行投資もあり、減益となっております。コンタクトセンター事業においては、今期大手電気通信事業者から受託したインターネット工事関連コールセンターの構築と新規立ち上げによる対応席数の拡大もあって、人員・設備の体制構築費用が先行しておりますが、ストック型の安定的な収益基盤が構築されてまいりました。リーバンにおいては8月を予定していた大規模な再生可能エネルギー関連案件の完工が6月に前倒しとなり、大幅な増収増益となっております。また、4月に子会社化したブランテクノとの連携強化、統制の整備にも努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,781百万円（前年同期比3.0%減）、営業利益は61百万円（前年同期比63.5%減）となりました。なお、ブランテクノの業績につきましては、第2四半期からの連結対象となります。

③ HPC事業

HPC事業においては、ホームページを刷新して新たな顧客流入経路の強化を図る他、従来同様に各種学会においてセミナーを開催する等、様々な機会を捉えての積極的な情報発信に努めてまいりました。例年、上期は受注活動に注力する一方で、顧客の予算使用時期の問題もあり納品・売上はそれほど伸びませんが、前期までの受注分の納品もあって、第1四半期は黒字を確保することが出来ました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は362百万円（前年同期比20.7%増）、営業利益は25百万円（前年同期比28.6%減）となりました。

（単位：千円）

	2024年3月期 第1四半期連結 累計期間	2025年3月期 第1四半期連結 累計期間	前期比
メモリ・PC関連デバイス・IoT事業			
売上高	1,623,292	1,439,307	△11.3%
営業利益又は営業損失	1,902	△55,891	—
通信建設テック事業			
売上高	1,836,526	1,781,228	△3.0%
営業利益	169,382	61,746	△63.5%
HPC事業			
売上高	300,112	362,345	20.7%
営業利益	35,507	25,365	△28.6%

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は10,501百万円となり、前連結会計年度末10,749百万円と比べ248百万円減少いたしました。

主な増減要因として、商品及び製品237百万円、仕掛品154百万円、前渡金168百万円が増加した他、パディネットの子会社であるブランテクノの株式の取得に伴い、未収入金等が増加いたしました。現金及び預金につきましては、ブランテクノの株式取得にかかる費用や、仕入に対応する支払、賞与、税金等の支払により241百万円減少いたしました。また、受取手形、売掛金及び契約資産が610百万円減少いたしました。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は960百万円となり、前連結会計年度末719百万円と比べ241百万円増加いたしました。

主な増減要因として、ブランテクノの連結開始に伴い、のれんが133百万円増加いたしました。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は6,018百万円となり、前連結会計年度末6,313百万円と比べ294百万円減少いたしました。

主な増減理由として、買掛金につきましては、282百万円減少いたしました。また、法人税の支払により、未払法人税等が128百万円減少いたしました。新規の短期借入金が120百万円増加いたしました。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,613百万円となり、前連結会計年度末1,359百万円と比べ253百万円増加いたしました。

主な増減理由として、新規借入により長期借入金が242百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は3,829百万円となり、前連結会計年度末3,794百万円と比べ34百万円増加いたしました。

主な増減理由として、利益剰余金が27百万円増加いたしました。

(単位：百万円)

	前連結 会計年度末 (2024年3月31日)	当第1四半期連結 会計期間末 (2024年6月30日)	増減額	
			増減額	主な増減理由
流動資産	10,749	10,501	△248	現金及び預金△241、 受取手形、売掛金及び契約資産△610、 商品及び製品+237、仕掛品+154、 前渡金+168
固定資産	719	960	241	のれん+133
資産合計	11,468	11,461	△6	—
流動負債	6,313	6,018	△294	短期借入金+120、買掛金△282、 未払法人税等△128
固定負債	1,359	1,613	253	長期借入金+242
負債合計	7,673	7,632	△41	—
純資産合計	3,794	3,829	34	利益剰余金+27
負債純資産合計	11,468	11,461	△6	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結累計期間の業績は事業ごとに多少のバラツキはあるものの、全体として概ね予定どおりであり、2024年5月15日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、2025年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想につきましては、当社グループは売上高が下半期に偏重する傾向が強く、上半期の業績予想が困難であるため、非開示としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,168,816	3,927,193
受取手形、売掛金及び契約資産	4,691,044	4,080,226
商品及び製品	1,130,056	1,367,700
仕掛品	255,792	409,983
原材料	270,043	245,849
その他	242,394	476,191
貸倒引当金	△9,102	△6,139
流動資産合計	10,749,045	10,501,005
固定資産		
有形固定資産		
建物	201,837	216,144
減価償却累計額	△55,621	△64,980
建物(純額)	146,216	151,164
機械及び装置	20,254	20,254
減価償却累計額	△18,928	△19,082
機械及び装置(純額)	1,326	1,172
車両運搬具	55,473	55,473
減価償却累計額	△53,680	△53,940
車両運搬具(純額)	1,792	1,532
工具、器具及び備品	194,314	216,200
減価償却累計額	△155,293	△161,216
工具、器具及び備品(純額)	39,020	54,984
リース資産	38,022	38,022
減価償却累計額	△29,336	△30,609
リース資産(純額)	8,685	7,412
土地	37,710	37,730
建設仮勘定	1,633	1,633
有形固定資産合計	236,384	255,630
無形固定資産		
のれん	5,700	138,594
ソフトウェア	15,504	16,580
ソフトウェア仮勘定	77,760	127,760
無形固定資産合計	98,964	282,934
投資その他の資産		
長期未収入金	25,424	25,424
繰延税金資産	169,636	188,064
その他	214,285	234,118
貸倒引当金	△25,424	△25,424
投資その他の資産合計	383,922	422,183
固定資産合計	719,271	960,748
資産合計	11,468,317	11,461,753

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,565,646	1,283,166
短期借入金	3,450,000	3,570,000
1年内返済予定の長期借入金	548,851	628,784
1年内償還予定の社債	58,000	58,000
未払法人税等	147,753	18,883
賞与引当金	123,839	127,082
役員賞与引当金	31,750	—
その他	387,573	332,844
流動負債合計	6,313,413	6,018,760
固定負債		
長期借入金	1,190,742	1,432,850
退職給付に係る負債	63,810	67,090
資産除去債務	55,336	61,335
その他	50,033	52,062
固定負債合計	1,359,923	1,613,338
負債合計	7,673,337	7,632,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	783,900	783,900
利益剰余金	2,537,880	2,564,997
自己株式	△2,505	△2,505
株主資本合計	3,419,276	3,446,393
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	263	2,216
その他の包括利益累計額合計	263	2,216
非支配株主持分	375,439	381,044
純資産合計	3,794,979	3,829,654
負債純資産合計	11,468,317	11,461,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	3,828,361	3,644,168
売上原価	2,923,183	2,865,246
売上総利益	905,177	778,921
販売費及び一般管理費	667,636	740,229
営業利益	237,541	38,692
営業外収益		
受取利息及び配当金	16	1,081
受取家賃	882	1,025
雑収入	261	2,030
営業外収益合計	1,159	4,136
営業外費用		
支払利息	5,530	8,142
為替差損	7,690	1,882
支払手数料	74	5
雑損失	577	800
営業外費用合計	13,872	10,831
経常利益	224,828	31,997
税金等調整前四半期純利益	224,828	31,997
法人税、住民税及び事業税	80,037	18,736
法人税等調整額	△6,297	△19,460
法人税等合計	73,740	△723
四半期純利益	151,088	32,721
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,855	5,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	143,232	27,117

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	151,088	32,721
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	8,535	1,952
その他の包括利益合計	8,535	1,952
四半期包括利益	159,624	34,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	151,768	29,070
非支配株主に係る四半期包括利益	7,855	5,604

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ・PC関 連デバイス・ IoT事業	通信建設 テック事業	HPC事業	小計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,620,819	1,835,549	300,112	3,756,482	71,879	—	3,828,361
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,620,819	1,835,549	300,112	3,756,482	71,879	—	3,828,361
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,472	977	—	3,449	—	△3,449	—
計	1,623,292	1,836,526	300,112	3,759,931	71,879	△3,449	3,828,361
セグメント利益	1,902	169,382	35,507	206,793	2,400	28,347	237,541

(注) 1. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益の調整額28,347千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,846千円及びその他調整額112,193千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3.	調整額 (注) 2.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1.
	メモリ・PC関連 デバイス・ IoT事業	通信建設 テック事業	HPC事業	小計			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	1,439,183	1,780,823	362,345	3,582,353	61,814	—	3,644,168
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,439,183	1,780,823	362,345	3,582,353	61,814	—	3,644,168
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124	405	—	529	—	△529	—
計	1,439,307	1,781,228	362,345	3,582,882	61,814	△529	3,644,168
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△55,891	61,746	25,365	31,220	△3,701	11,173	38,692

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額11,173千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△111,972千円及びその他調整額123,146千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。その他調整額は、主にセグメントに帰属しない持株会社に対する経営指導料等の消去であります。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「通信建設テック事業」セグメントにおいて、株式会社ブランチテクノの全株式を取得し、連結子会社化としております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては、133,708千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
減価償却費	9,555千円	15,435千円
のれん償却額	15,283千円	814千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。